

SOSの出し方教育について

1 実践校 ○○小学校

2 実践時期 6月下旬～7月上旬
・学級ごとに実施

3 実践の概要

- ・生徒指導主事とスクールカウンセラーの事前打ち合わせのもと、スクールカウンセラーが各学級の学級活動へ出向き、直接指導をする場を設定。
- ・低学年用と高学年用の二種類のプレゼンテーションを準備し（スクールカウンセラーが作成）、学級担任とスクールカウンセラーが連携して、発達段階に応じた指導を実施。

【指導の内容】

- 不安や悩みは誰にでも生じるが、不安や悩みが大きかったり長く続いたりすると、心や体に影響が出ること。
 - つらさを軽減するために、自分にできる方法や自分に合った方法を知ることが大切であること。
 - 苦しいときは助けを求めることが大切で、それには身近にいる大人に話したり、相談窓口を利用したりする方法があること。
 - 友達がつらそうにしていたら、一緒に身近にいる大人に話しに行くことよいこと。
- ・2学期以後も、スクールカウンセラーによる指導の場を定期的に位置づけ、児童がスクールカウンセラーを身近に感じられるようにするとともに、SOSの出し方に関する指導を小まめに実施する計画。